

事務事業名	雲南都市計画事業 大木原土地区画整理事業	所属部	建設部	所属課	都市建築課
政策名	総合計画体系 (II)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	都市計画グループ	課長名	嘉本俊一
施策名	(04)計画的な土地利用と市街地整備	担当者名	渡部克彦	電話番号(内線)	0854-40-1064
基本事業名	(010)都市機能地域の整備	予算科目	会計 3:5 1:0 0:5 0:5 0:1	中事業	3746 土地区画整理事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(14年度~23年度)	区画整理事業施行区域は、市街地形成の骨格となる幹線道路が交差する地区で、新たな中心市街地を形成する地区として位置づけられており、幹線道路・区画道路等の公共施設整備に併せ、上下水道の整備及び商業施設用地、住宅地を計画的に整備する。	平成5年に計画された、主要地方道松江木次線、主要地方道玉湯吾妻山線のバイパス計画に合わせた、周辺市域の面的整備が必要となり土地区画整理事業を導入し整備を開始した。

(2)トータルコスト

	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
①事業費の内訳(概要)							
換地委託費 14,391千円	千円	16,380					546,400
工事費 4,061千円	千円	6,930					368,400
工事負担金(県へ) 4,542千円	千円	1,700					393,200
清算金 22,597千円	千円	284,506	35,073	47,440			892,000
事務費 1,849千円	千円						
合計 47,440千円	千円	309,516	35,073	47,440	0	0	2,200,000
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)							
換地設計 地権者調整→仮換地指定→換地処分	人	2	2	2			
設計業務 設計→発注→完了→検査	時間	2,000	2,000	200			
工事施行 設計→発注→竣工→検査	千円	7,628	7,776	788	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	317,144	42,849	48,228	0	0	2,200,000

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	宅地工事、換地処分、登記事務	ア 事業進捗率	%	98	99	100			
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 都市計画道路供用延長	m	720	720	720			
	H23年度で事業終了	ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	幹線道路(都市計画道路)事業区域	⑥ 対象指標							
		ア 道路延長	m	720	720	720			
		イ 事業実施区域	ha	13.7	13.7	13.7			
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	幹線道路(都市計画道路)が整備される。区画整理された良好な宅地を整備される。	ア 道路整備率	%	100	100	100			
		イ 事業実施率	%	98	99	100			
		ウ							
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
地域特性を活かした有効かつ効果的な土地利用を進める。	ア 便利で住みやすい街だと感じている市民の割合	%	59.3	58.8	57.1				
	イ								

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
<ul style="list-style-type: none"> ・(主)玉湯吾妻山線((都)新庄飯田線)の供用開始により、通過時間が早くなった。 ・使用収益を開始した街区において、内科医院、店舗等の建築が行われ一部では営業を開始され、その他住宅が6軒建築された。 ・(主)松江木次線((都)新庄飯田線)の供用開始に併せ店舗の開店等が計画されている。 	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・地権者から早期に事業を完成し、事業効果をあげてほしい旨の要望がある。

事務事業名	雲南都市計画事業 大木原土地区画整理事業	所属部	建設部	所属課	都市建築課
-------	----------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 都市計画道路の整備に併せ周辺の土地を整地し、商業施設・公共施設等の集積、良好な住宅環境を整備し地域の活性化を図る。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 県道、市道、公共施設等の整備に併せ、上下水道や電気、電話の生活基盤整備を総合的に調整し施工する必要があるため公共で整備すべきである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象は都市計画決定された区域内であるので妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 島根県事業と一体的に整備したものであり、これ以上の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 都市計画決定された事業であるので、地権者の権利を制限しており、休止・中止は大きな影響がある。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業なし <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ コスト削減に努めており、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か?成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 最小限の人員で対応している。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 受益の度合いにより精算金により処理を行う

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地権者・地元住民の理解と協力により事業推進をした。 引続きまちづくりについて、協議し事業を推進する。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) H23年度で事業を完了した。	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																							